

検知管

9-807-10

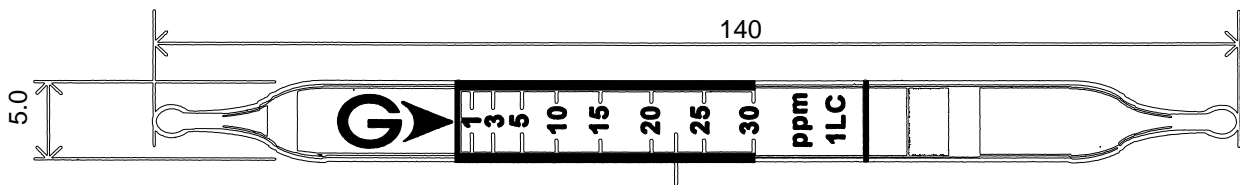
一酸化炭素 CO

適用範囲

検知管1LCは空気中の一酸化炭素を測定。

外観

印刷色:白色



検知剤 (白色)

仕様

校正用ガス	一酸化炭素(高压ガス容器詰法)
試料採取方法	真空式気体採取器
表示目盛範囲	1 ~ 30ppm
測定範囲	1 ~ 30ppm
吸引回数(n)	1回(基準)
吸引補正係数	1
試料量(ml)	100
測定所要時間	4分
検知限度	0.5ppm(1回吸引)
変色	白色 淡桃色
反応原理	パラジウム塩は一酸化炭素により還元され、生成物は淡桃色を呈する。CO+パラジウム塩(白色) 反応生成物(淡桃色)
使用温度範囲	0 ~ 40 (温度補正係数あり,別表1による)
使用湿度範囲	相対湿度0 ~ 90%
有効期間	2年(冷暗所保存)
干渉ガス	別表2による
箱詰入数	10本
箱の寸法	147(W) × 54(D) × 17(H)
廃棄方法	この検知管には有害物質を含まない。一般廃棄物,もしくは産業廃棄物の“ガラス及び陶磁器くず”として廃棄。

別表1 温度補正係数

温度()	0	5	10	15 ~ 40
温度補正係数	1.8	1.3	1.1	1.0

別表2 干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
アンモニア	なし		変色しない
二酸化イオウ	1/20倍以上	- 誤差	変色しない
二酸化窒素	1/20倍以上	+ 誤差	変色しない

人体の影響

一酸化炭素は血液中のヘモグロビンと結合し、体内の酸素供給能力を妨げるため、中毒症状が現れ、その症状には頭痛・吐き気・めまい・まぶしい感じ・耳鳴りなどがある。

濃度(ppm) × 暴露時間(hr)	作用
300以下	作用は認められる。
600以下	多少の作用は現れる(異常感)。
900以下	頭痛、吐き気が起こる。
1200以下	生命危険となる。